

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『日本芸術文化振興会年報 平成22年度』		日本芸術文化振興会
『日本橋 人をつなぐ・時代をつなぐ 石橋開橋百周年記念』		中央区立郷土天文館
『『ぴあ』の時代』	掛尾良夫(著)	キネマ旬報社
『待ってくれ、洋子』	長門裕之(著)	主婦と生活社
『優秀新人戯曲集 2012』	日本劇作家協会(編)	ブロンズ新社
『夢おいかけて 昭和ヒトケタ生まれの半世紀』	三橋松太郎(写真)	私家版
『知立之山車文楽 I I 昭和から平成へ』		知立山車文楽保存会
『日本の伝統演劇 その特質と国際性』	日本女子大学人間社会学部文化学科(編)	日本女子大学
『若者の歌舞伎観』	大久保康彦(著)	そうよう
『越境の映画監督日夏英太郎』	日夏もえ子(著)	文芸社
『外通協50年の歩み』		外国映画通関連絡協議会
『神戸北ホテル』	小幡欣治(著)	早川書房
『知られざる歌舞伎座の名画 歌舞伎座建替記念特別展』		山種美術館

■ 松竹系 4月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『通し狂言 仮名手本忠臣蔵』	○		○	○
平成中村座	『隅田川続俳 串田戯場 法界坊』	○	○	○	○
	『小笠原諸礼忠孝 通し狂言 小笠原騒動』	○	○		
平成中村座 (試演会)	『双面水照月』				
	『越後獅子』				
	『お楽しみ座談会』				
日生劇場	『滝沢歌舞伎2012』			○	
南座(京都)	第二十回南座歌舞伎鑑賞教室			○	○
松竹座(大阪)	OSK日本歌劇団レビュー春のおどり			○	○
金丸座	『正札附根元草摺』				
	『一本刀土俵入』	○			
	『戻駕色相肩』	○		○	○
	『三代目中村又五郎四代目中村歌昇襲名披露口上』				
	『義経千本桜 川連法眼館の場』	○			

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 他社公演資料 ■

大阪新歌舞伎座	4月	『コロッケ特別公演』プログラム
吉祥寺シアター	3月	『鬼界ヶ森』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	4月	『マギーの博物館』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	3月	『野球部員、舞台に立つ!』プログラム、台本
		『人形劇団プーク オズの魔法使い』プログラム
国立劇場小劇場	3月	『組踊と創作舞踊』プログラム
		『国立劇場第一三四回舞踊公演 素踊りの会』プログラム
国立劇場大劇場	4月	『通し狂言 絵本合法衢』プログラム
		『第十回伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
座・高円寺1	3月	『ワンダーガーデン』プログラム、台本
theatre iwato	3月	『江戸糸あやつり人形結城座 夏の夜の夢』プログラム
シアターX	3月	『小さなエイヨルフ』プログラム、台本
シアタークリエ	3月	『幻蝶』プログラム
滋賀県立文化産業会館	3月	『流れゆくもの 伝統と創造シリーズ I I』プログラム
四季劇場・秋	3月	『ユタと不思議な仲間たち』プログラム
新国立劇場小劇場	3月	『パーマ屋スマレ』プログラム
	4月	『まほろば』プログラム
自由劇場 (四季)	3月	『解ってたまるか!』プログラム
		『ガンバの大冒険』プログラム
SPACE雑遊	3月	『砂の上の星』プログラム、台本
スペース・ゼロ	3月	『人形劇団ひとみ座 テンペスト』プログラム
世田谷パブリックシアター	4月	『組踊 伝統と創作』プログラム
テアトルエコー	3月	『にわか雨、ときたま雨宿り』プログラム
天王洲銀河劇場	3月	『9時から5時まで』プログラム
博多座	4月	『菊次郎とさき』プログラム、ポスター
博品館劇場	3月	『カンタレラ2012 裏切りの毒薬』プログラム
本多劇場	3月	『ウェルカム・ニッポン』プログラム
御園座	3月	『早乙女太一特別公演』プログラム
	4月	『細雪』プログラム
三越劇場 (日本橋)	3月	『ひとり文芸ミュージカル 三毛子』プログラム
	4月	『絹の手ざわり 縁 (えにし)』プログラム
六行会ホール	3月	『第十五回みつわ会公演』プログラム、台本
ル テアトル銀座	3月	『Hobson's Choice ホブソンの婿選び』プログラム、台本

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『わが母の記』	○	○	○		○

■ 映画プログラム ■

『ポテチ』	『アーティスト』	『ジョン・カーター』
『宇宙戦艦ヤマト2199 第一章 遙かなる旅立ち』	『ジョイフル♪ノイズ』	『捜査官X』
『タイタンの逆襲』		『ベイベーズーいのちのちからー』

(新規登録資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成24年4月号(545号)

『文楽通信かわら版』11号

『舞踊芸術』2012年5月号

『Confetti』2012年JUNE Vol. 90

『Confettiかわら本』2012年5月号

『伝統文化新聞』2012年(71号)

『DRAMAかながわ』38号~64号

『別冊DRAMAかながわ』2012年(1号)

『演劇映像』2012年53号

〔《特集》1923年以前の日本における映画館と上映形態 その美学的文化的特質 小松弘〕

『演劇界』2012年5月号

〔《特集》歌舞伎の襲名一前編— 襲名二座の華舞台 六代目中村勘九郎平成中村座 三代目又五郎・四代目歌昇南座秀山祭/追悼 四代目中村雀右衛門 《インタビュー》中村獅童〕

『演劇界』2012年6月号

〔《特集》歌舞伎の襲名一後編— 親子インタビュー 三代目中村又五郎×四代目中村歌昇 《インタビュー》市川門之助〕

『演劇研究』2011年35号

〔《特集》鴻池幸武宛て豊竹古鞠太夫書簡二十三通— 鴻池幸武・武智鉄二関係資料から— 小島智章 児玉竜一 原田真澄/明治四十五年「新愛知」新聞にみる名古屋における坪内逍遙の動向とその周辺 濱口久仁子〕

『演劇批評』2002年準備号、2002年創刊号、2003年2号

『演劇映像学連携研究拠点ニューズレター』2012 February (2号)

『演劇博物館』2012年Vol. 106

〔《特集》「つかこうへいの七〇年代」展/「中村歌右衛門展」/「逍遙書簡展」/「植田いつ子舞台衣裳展」〕

『芸劇、変身中。』2012年SPRING 4号

『悲劇喜劇』2012年5月号

〔《特集》野田秀樹 《掲載戯曲》『THE BEE』日本語版・英語版 野田秀樹&コリン・ティーバン 共同脚本〕

『邦楽の友』平成24年5月号

『ほうおう』2012年6月号

〔《インタビュー》市川亀治郎改め四代目市川猿之助 《特集》新派『華岡青洲の妻』懇親会レポート〕

『ジョイン』2012 Mar. No. 74

〔《特集》成河/私が選ぶベストワン2011/誌上レポート 演劇と教育シリーズvol. 1<セミナー>学校教育におけるコミュニケーション教育の現状/劇場という名の文明(29)せんがわ劇場〕

『JPL』2012年Spring No. 45

〔《特集》新国立劇場 ボリス・エイフマン バレエ「アンナ・カレーニナ」/野村萬斎演出 世田谷パブリックシアター「サド侯爵夫人」〕

『喝采』2012年7月

〔《特集》博多座七月公演『ミュージカル エリザベート』春野寿美礼 瀬奈じゅんインタビュー〕

『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』5号〔《特集》伊藤正義文庫〕

『国立演芸場公演ガイド』平成24年5月号

『メセナnote』2012年Spring 72号〔《特集》メセナが広げる「共生社会」〕

『日本芸術文化振興会ニュース』平成24年5月号

『日本照明家協会雑誌』2012年4月号

〔《インタビュー》加藤徹さんに聞く 《特集》平成23年度全国舞台照明技術者会議 北海道支部 技術者会議レポート/平成22年度 イタリア・ミラノスカラ座研修レポート 西田俊郎〕

『日本舞踊』64巻5月号

〔《特集》秘曲・新曲サロン 長唄 軒すだれ/舞踊写真教室 舞踊小曲 深川しぐれ(下)〕

『日本劇作家協会会報 ト書き』2012年48号

〔《特集》第17回劇作家協会新人戯曲賞/東日本大震災から一年 渡辺えりインタビュー 劇作家、それぞれの視点/追悼 斉藤憐氏 市川森一氏〕

(新規登録資料案内 演劇雑誌 続き)

『日本劇作家協会会報 ト書き』2012年東海支部版

『大向う』平成24年5月号

『ラ・アルプ』2012年5月号

[[特集]] 『ライオンキング』札幌公演千秋楽、大阪公演決定! / 『ユタと不思議な仲間たち』

『シアターガイド』2012年6月号

[[特集]] 劇団☆新感線のうえ歌舞伎「シレンとラギ」藤原竜也&永作博美 / 「海辺のカフカ」 / 「WARRIOR〜唄い続ける侍ロマン」 / 「シダの群れ 純情巡礼編」 / 「五月花形歌舞伎」市川染五郎

『テアトロ』2012年5月号

[[特集]] 3・11から1年一演劇界は今 《掲載戯曲》第23回テアトロ新人戯曲賞・佳作作品『妹よ…』蓮見正幸、『臨床心理相談室』松宮信男 / 『その後の二人〜ソーニャとアンドレイ』ブライアン・フリール

『よこはま演劇』2010年3月号〜2011年9月・10月・11月合併号

■ 映画雑誌 ■

『文化通信ジャーナル』2012年1月号

[[インタビュー]] 康相敦 CJ Entertainment Japan (株) 代表取締役社長

『文化通信ジャーナル』2012年2月号

[[インタビュー]] 坂上順「はやぶさ 遙かなる帰還」プロデューサー スタジオ88代表

『ドラマ』2012年5月号

[[特集]] 市川森一インタビュー特集 明日の作家へのメッセージ / 第40回創作ラジオドラマ大賞受賞作発表 《掲載シナリオ》『終着駅 トワイライトエクスプレスの恋』鎌田敏夫

『映画テレビ技術』2012年5月号

[[特集]] 映画『ムサン日記〜白い犬』パク・ジョンボム監督インタビュー / 「第30回そつせい祭」に参加して / 映画録音の基礎知識 / 公開講座 木村栄文レトロスペクティブ

『映画時報』2012年3月号

[[インタビュー]] ソニー・ピクチャーズエンタテインメント 佐野哲章映画部門日本代表 《特集》「松竹」&「角川映画」2012年ラインナップ発表

『映画秘宝』2012年6月号

[[特集]] 深夜0時の自宅映画祭 / 2012年、男たちの大復活祭! / 『裏切りのサーカス』

『衛星劇場プログラムガイド』2012年5月号

『エキブ・ド・シネマ』2012年No. 187 [「オレンジと太陽」]

『FLIX』2012年6月号

[[特集]] 佐藤健 / 俳優・監督が選んだ「お気に入り」映画 / 撮影現場レポート 関ジャニ∞主演作『エイトレンジャー』

『キネマ旬報』2012年4月下旬号

[[特集]] ハリウッドの最古参 ユニバーサル映画の100年 / 「アーティスト」をめぐるクロストーク / 16歳、原節子がいる「新しき土」 / 親と子で映画を撮る ケンとジム、ふたりのローチの場合 / 「別離」

『キネマ旬報』2012年5月上旬号

[[特集]] 映画作家、小津へと向かう「わが母の記」と小津安二郎、再考 / 映画本大賞2011発表 / 追悼 淡島千景を抱きしめて / 追悼 神波史男 斬った張った、飲んだ書いた

『キネマ旬報』2012年5月下旬号

[[特集]] 映画の想像力 リアルとフィクションのあいだ ソクーロフ、アルモドバル、カウリスマキ「ファウスト」「私が、生きる肌」「ル・アーヴルの靴みがき」

『NFCニューズレター』2012年3月号

[[特集]] ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代 / よみがえる日本映画 [大映篇] / 『地獄門』のデジタル復元

『NFCカレンダー』2012年5月号、6月号

『ピクトアップ』2012年6月号76号

[[特集]] 『鍵のかかった部屋』一月9ドラマの新たな挑戦 大野智×戸田恵梨香×佐藤浩市

『SCREEN』2012年6月号

[[特集]] ジョニー・デップの2大新作 / いまハリウッドで最もパワフルな50人

(新規登録資料案内 映画雑誌 続き)

『シナリオ』2012年6月号

〔『掲載シナリオ』『わが母の記』原田真人／『彼女について知ることのすべて』井土紀州〕

『シナリオ教室』2012年5月号

〔『掲載シナリオ』函館港イルミナシオン映画祭2011「第15回シナリオ大賞」受賞作 函館市長賞 (グランプリ)『リアルファミリー』園田新〕

『友 Iwanami Hall』2012年春号No. 373

〔『特集』「鎌倉市川喜多映画記念館」3年目の旅立ち 大場正敏〕

イブニングセミナー 『どうなる日本の電子出版ビジネス』レポート

2012年4月24日18:00～20:00 日本図書館協会会館2階研修室

講師：牛口 順二(紀伊國屋書店理事)

出席者：飯塚 美砂

電子書籍元年といわれた2010年から2年が経過した。欧米、特に米国では順調に電子書籍が普及しているのに比べ、わが国の電子書籍市場は伸び悩んでいるといわれている。日本では電子辞書、携帯向けのコミックスやライトノベルスなどの発行数は多く、ある意味では電子書籍大国と言っても良い一面があるのだが、この場合考へに入れている電子書籍とは、書籍として出版もされ、なおかつデジタル出版もされるものということになるだろうか。

市場が成長しない原因は、なんといってもコンテンツ(書籍タイトル)数の不足である。コンテンツがふえない理由として挙げられるのが、デジタル化のためのコストが欧米に比べ高額(約10倍という説もある)となることである。

まず、アルファベットに比べ、漢字を含む日本語の文章をデジタルに読みこむには多大な手間が掛かる。読み込みの精度に限界がある上に縦書き、ルビ、禁則処理、外字など特殊な処理も要求され、校正を繰り返して行う必要があるためだ。また、著者との出版契約など著作権処理問題、出版社の権利が確立されているとは言いがたく、その許諾作業もなかなか進まず、コスト増大に輪をかける。これだけコストをかけて販売しても回収できるかどうか予想が付かないので出版社としては消極的にならざるを得ない。

利用者からみても、どのストアから買っても読めるのかどうか、端末によって読める書籍と読めない書籍があるのか、一度購入した電子書籍は“保存”して蔵書と出来るのか…など紙の本ではありえなかった疑問が湧き出てくる。

販売するストアも、読書端末の普及が進み、かつ書誌情報を統一して検索にかけられなければコンテンツがふえても販売できない。

停滞する電子出版事業を活性化させるために、官民一体となった環境整備が図られることになり、まず電子出版における問題点、課題を洗い出したあと、総務省の支援により昨年秋から順次各問題点を検討する会議、委員会が立ち上げられた。文科省では、図書館での電子書籍の利活用、出版社の権利を検討し、経済産業省では平成23年度第3次補正予算において事業規模20億円の「コンテンツ緊急電子化事業」(略称“緊デジ”)が認められた。

この“緊デジ”は、東日本大震災の被災地域で地域住民の知へのアクセスが困難になっている現状において、被災地で中小出版社の東北関連書籍をはじめとする書籍等の電子化作業の一部を実施、費用を一部負担し電子書籍市場等を活性化、東北関連情報の発信、被災地域における知へのアクセスの向上と新規事業の創出や雇用の促進を目的にしたとうたわれることになったが、書籍の電子化支援の構想自体は地震発生以前から考えられていたものであるという。

具体的には、日本書店商業組合連合会、日本出版取次協会、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本図書館協会によって設立された一般社団法人「日本出版インフラセンター(JPO)」が事務局となり、国の予算10億円を使って電子書籍化の費用の1/2を補助する。電子書籍6万点の出版を計画している。またインフラの整備(フォーマットの統一、書誌データ、コンテンツIDの標準化、一元化して検索できるポータルサイトの運営、権利処理の支援や図書館向けの配信事業)も視野に入れている。

大手出版業界でも、新潮社、講談社、学研ホールディングスなどが新刊段階からの電子刊行を発表している。スマートフォンの普及、タブレット端末の新機種登場などにより読書用のデバイスも普及しつつある2012年こそが、日本での電子書籍元年となるのではないかと期待されている。

第21回 松竹大谷図書館所蔵資料展示 「平成中村座」展

展示期間：2012年4月27日～5月30日
於：松竹大谷図書館閲覧室

5月の所蔵資料展示は、昨年11月からのロングラン公演に、今月末いよいよ千秋楽を迎える**平成中村座**公演の、過去の公演プログラムを展示しております。平成12年、浅草の隅田公園に江戸時代の芝居小屋を再現した仮設劇場を設けて始まった平成中村座の公演ですが、この11年を経て、浅草11回、大阪3回、名古屋2回、松本2回の計18回の国内公演、そして3度の海外公演を行って国内外で大きな反響を得ました。これまで平成中村座の国内公演のプログラムは、初演から平成22年11月公演までずっと、A4版の大型で、斬新なデザインのもので通してきました。今回のロングラン公演のプログラムは、A5版と、これまでの半分のサイズで、表紙も江戸時代の地図に中村座の黒・柿・白の定式幕を合せたデザインで統一し、11月から5月までの公演プログラムを並べると、背表紙の地図がつながるようになっています。また、11月はオリジナルの立版古、12月公演からは当館所蔵の立版古を提供した複製が、毎月巻末付録として付いており、遊び心も満載なプログラムとなっています。



【国内公演プログラム】



【海外公演 旗】
【海外公演プログラム】

【平成中村座 公演の記録】（※=仮設劇場） ■印の公演プログラムを展示

■平成12年(2000)11月	浅草・隅田公園※	『隅田川続俳 法界坊』
■平成13年(2001)11月	浅草・隅田公園※	『義経千本桜 知盛編・権太編・忠信編』
■平成14年(2002)11月	大阪・扇町公園※	『夏祭浪花鑑』『隅田川続俳 法界坊』
■平成15年(2003)10月	浅草 寺境内※	『加賀見山再岩藤 骨寄せの岩藤』
平成16年(2004)7/8~10	海外公演(米・ホスト)	『弁天娘女男白浪』『本朝廿四孝 十種香』『人情断文七元結』
■平成16年(2004)7/17~25	海外公演(米・ユナイテッド)※	『棒しばり』『連獅子』
平成16年(2004)7/28	海外公演(米・ワット)	『夏祭浪花鑑』(旗複製展示)
平成18年(2006)9/24~27	名古屋・同朋高等学校体育館	『棒しばり』『連獅子』
■平成19年(2007)7月	海外公演(米・ユナイテッド)	『本朝廿四孝 十種香』『十八代目勘三郎襲名披露口上』『身替座禅』
平成19年(2007)7/26	海外公演(米・ワット)	『十八代目勘三郎襲名披露口上』『義経千本桜 木の実・小金吾討死・すし屋』
■平成20年(2008)5/14~21	海外公演(独・ベルリン)※	『連獅子』(16日のみ)『串田戯場 隅田川続俳 法界坊』
平成20年(2008)5/29~6/1	海外公演(ドイツ・ベルリン)	『勸進帳』『身替座禅』
■平成20年(2008)7月	まつもと市民芸術館	『夏祭浪花鑑』
■平成20年(2008)10月	浅草 寺境内※	『夏祭浪花鑑』
■平成20年(2008)11月	浅草 寺境内※	『仮名手本忠臣蔵』
■平成21年(2009)9月	名古屋城二之丸広場※	『串田戯場 隅田川続俳 法界坊』
■平成22年(2010)7月	まつもと市民芸術館	『串田戯場 隅田川続俳 法界坊』
■平成22年(2010)10月	大阪城西の丸庭園※	『傾城反魂香』『極付幡随長兵衛』『元禄花見踊』
■平成22年(2010)11月	大阪城西の丸庭園※	『佐倉義民傳』
■平成23年(2011)11月	浅草・隅田公園 ※	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』『紅葉狩』『恋飛脚大和往来 封印切』
■平成23年(2011)12月	浅草・隅田公園※	『平家女護島 俊寛』『太閤桜』『弁天娘女男白浪』
■平成24年(2012)1月	浅草・隅田公園※	『串田戯場 隅田川続俳 法界坊』『夏祭浪花鑑』
■平成24年(2012)3月	浅草・隅田公園※	『双蝶々曲輪日記 角力場』『お祭り』『義経千本桜 渡海屋・大物浦』
■平成24年(2012)4月	浅草・隅田公園※	『猿若江戸の初櫓』『伊賀越道中双六 沼津』『弁天娘女男白浪』
平成24年(2012)5月	浅草・隅田公園※	『菅原伝授手習鑑 車引・賀の祝・寺子屋』(『車引』スチール展示)
		『芦屋道満大内鑑 葛の葉』『積恋雪関扉』『松浦の太鼓』
		『義経千本桜 烏居前』『身替座禅』『雪暮夜入谷畦道』
		『寿曾我対面』『染久松色読販』
		『暫』『一條大蔵譚 権檀・奥殿』『舞鶴雪月花 さくら・松虫・雪達磨』
		『傾城反魂香』『六代目中村勘九郎襲名披露口上』『曾我緋次御所染 御所五郎蔵』『元禄花見踊』
		『串田戯場 隅田川続俳 法界坊』『通し狂言 小笠原騒動』
		『本朝廿四孝 十種香』『弥生の花浅草祭』『神明恵和合取組 め組の喧嘩』
		『毛拔』『志賀山三番叟上演口上』『志賀山三番叟』『梅雨小袖昔八丈 髪結新三』